



ゆりこみ 10がら 特別号!

残暑の厳しかった9月も終わり、朝夕は肌寒く感じる日も増えてきました。日中も日差しはあるものの、風は涼しく、空気もカラッとして身体を動かすには丁度良い気候です。さて、10月といえば、保育園生活の中にも、一大イベントの運動会が今週土曜日に行われます。今回のおたよりは特別号ということで、運動会に向けてのクラスの様子や、子どもたちが楽しんできたことをお伝えしていきたいと思っております!

めざせ!ガンバリのプロ、大文字山からの手紙

プールのプロになるべく、日々楽しんでた夏が終わり見事プールのプロとして認定された子どもたち。次は、ガンバリのプロを目指して9月から頑張ってきました。そんなある日、担任の友だち(?)の大文字山を名乗る人物からの手紙がクラスに届きました。大文字山に住む大文字プロは担任から、子どもたちがガンバリのプロを目指していると聞き、アドバイスを伝えるため手紙を書いてくれたそう。そこには子どもたちを応援する言葉と三つのスペシャルアドバイスが書かれていました。

一、苦手なことでも毎日少しずつでもやってみる。
二、失敗は成功の元、失敗しても大丈夫。三、友だちと一緒にする、困っていたら助ける。
ゆりこみが目指すガンバリのプロは何かのことが上手にできるようになるための頑張りでなく、苦手なことでも失敗してもあきらめずにやってみたり、友だちの頑張る姿を見てやってみたり、かになりたいたいと思える人になることかなと思います。また、頑張った自分や友だちを「すごいやう!!」「やたね!!」と認め合って一緒に喜べるそんなクラスに育ってほしいとも思います。もちろん、「一筋縄ではいきませんか!」それこそ「やってみよう!」と日々壁にぶつかりながら前進!のゆりこみです!

木馬のはなし...

ゆりこみに進級してすぐ、乗り始めた木馬。
「前のゆりこみがいた!!」「やってみよう!!」と目をキラキラさせていましたが、コロナ禍で登園人数が半数以下になり、友だち同士誘い合って乗ったり、高め合いが難しく、一か超、倉庫のボコを渡る時期もありましたが、夏の終わり頃、突然再ゲームが訪れ、これまでに楽しんできました。何年ぶりか確実に木馬に触れる時間は短豆かたのすが、そんな時間を取戻すかのように日々取り組む子どもたちです。まだまだ「よく乗水ながたり、あはれ!!」たりたりもしまりが長い一年間の中で自分なりに「うわ!!楽しい!!」と思える瞬間が来れば十分!と担任は思っています。運動会では、子どもたちの今の楽しんでる姿を見て、これまでの大月を感じていただけたらと思います。



サーキットのはなし...

子どもたちが女子きな活動のひとつ「体育あそび」。ルールのあるもの、誰にもできる繰返して楽しめるもの、ちょっぴり難しいものなど、これまで色々な体育あそびをしてきました。

そして、近頃特に楽しんでやっているのが「サーキット」です。先述した体育あそびと水たまり、要素を取り入れたこのサーキットですが、始めから上手にできた訳ではなく、友だちとぶつかりたり、順番で争ったり、最初は5分ぐらいしか続きませんでした。それこそ、繰返して取り組んで、楽しんでいくうちにぶつかりな、より別の場所には多量力できたり、前には友だちがきたら「待つてた!!」友だちのことを思いやるようになってきた子どもたちの成長と共に上手になりました。そんなゆりこみの海に、そうご期待です!

おたんじょうびおめでとう!

ちゅ A. 木馬頑張りたい!! あさいのぶと (25歳)

A. 楽しんで進めたい!! A. ああおこがなもつりたい